

2025年1月21日

西日本旅客鉄道株式会社

山陽線 三原駅～本郷駅間 線路設備の確認を実施した事象の原因と対策について

山陽線 三原駅～本郷駅間で線路設備の確認を実施した事象について、原因が判明しましたので対策とあわせてお知らせします。

お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2024年11月29日（金） 4時37分頃

2 発生場所

山陽線 三原駅～本郷駅間 ※本郷駅から約3.1km 三原駅寄り

3 概況

2024年11月29日（金）4時37分頃、山陽線 三原駅～本郷駅間でレールの交換作業に従事していた当社社員が、作業終了後にレールの溶接部に不具合を認め、広島指令所に連絡しました。復旧作業の為、三原駅～白市駅間で運転を見合わせ、8時05分に運転を再開しました。

※お客様にお怪我はありませんでした

4 列車影響

<運休> 16本（下り8本 上り8本）

<遅れ> 77本（下り41本 上り36本） 最大122分

<影響人員> 約17,000人

5 原因

レールの溶接時、溶接部に不良が生じて隙間が開いたためと推定されます

6 対策

溶接時、レールを保持する機械が適切に動作していることを確認する回数を増やします